

京浜臨海部での燃料電池フォークリフト導入とクリーン水素活用モデル構築実証 (神奈川県横浜市及び川崎市、実施代表者:トヨタ自動車)

実証概要とサプライチェーン図

<p style="text-align: center;">概要</p>	<p>本事業では、再生可能エネルギーを活用した「CO2フリー水素の製造」に加え、その「貯蔵」「輸送」および「利用」も含めた水素サプライチェーンの構築を通じて、水素利活用における簡易な統合的システムを実現し、将来の地域展開と地球温暖化対策への貢献を目指し、次の4つのテーマで取り組むことを目的としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①風力発電(ハマウイング)により水を電気分解して水素を製造するシステム ②最適な水素供給を行うための貯蔵と輸送の仕組み ③燃料電池フォークリフトの導入利用 ④水素サプライチェーンの事業可能性調査(水素価格、CO2削減量など) 		
<p style="text-align: center;">事業場所</p>	<p style="text-align: center;">神奈川県横浜市及び川崎市</p>	<p style="text-align: center;">事業期間</p>	<p style="text-align: center;">平成27年度～令和2年度</p>

